

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	就業形態の異なった職員であっても、介護職としての技術、知識の向上を図り、責任ある認識を持たなければならない。	職員は、介護職として個人目標を持ち、グループホーム職員として責任とチームワークを心掛けていく。原点に戻って誠実な介護を行う。	介護現場に実際生かされた知識を習得し、統一した見解を職員間で共有することができる様に努める。職員会議、研修、学習会などで機会を持ち、理解を深める。	12 か月
2	10,19	職員は、利用者様、ご家族様同士と一緒に交流する場を設ける。	家族会を開催する事で、家族同士の横の連携がとれる事、職員も含めて信頼関係を構築することができる。	来年度の5月頃に24年度第1回目の家族会として、ホーム内でバーベキュー食事会を予定している。今後はホーム以外での地域に向けての交流会を考慮していきたい。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。